

自 2022 年 4 月 1 日
至 2023 年 3 月 31 日

2022 年度
第 44 期
事業計画書

公益財団法人松尾芸能振興財団
東京都港区南青山 6-1-3

2022 年度事業計画書

全体の事業計画

日本の伝統ある劇場芸能を助成し、振興し、もって我が国独自の文化、芸能の保存及び向上に寄与することを目的に、引き続き「松尾芸能賞」は、各種演劇演技、舞台音楽、舞台施設、劇作演出、伝統芸能、民族芸能、歌謡芸能、大衆芸能等々芸能界各種部門において貴重な実績を残し、或いは将来を期待される人々のうちから広く候補を求め、大賞、優秀賞、特別賞、新人賞 等を選考し、これに対して賞金、賞牌を添えて表彰します。また、昨年引き続き、「育成事業」の松尾塾伝統芸能の稽古場運営と公演の開催、「助成事業」の日本の伝統芸能を継承・保存する活動に対しての助成も行います。なお、海外との文化交流についても前向きに検討します。

1. 松尾芸能賞の運営

1) 選考および審議と決定

選考委員と推薦人による候補者選出の後、選考委員会にて受賞対象分野の確認並びに受賞候補者の選考ののち内定とし、評議員会および理事会の審議を経て受賞者を正式決定します。

2) 贈呈式実施概要

式典名：第 44 回松尾芸能賞贈呈式

開催日：2023 年 3 月 29 日（水）

場 所：帝国ホテル東京（東京都千代田区内幸町 1-1-1）

2. 自主公演事業 「伝統芸能をつなぐ」の企画

2016 年より始めた自主公演は、「女性による伝統芸能の伝承」を第 5 回まで行ってきましたが、2022 年度より「伝統芸能をつなぐ」をテーマに、第 1 回として「江戸の祭り」を企画しています。新型コロナウイルス感染症の影響により、各地の祭りは中止に追い込まれ、誰もが身近で馴染み深い「日本の祭り」を楽しむ機会が減りました。また、「祭り」は身近なものではありますが、太神楽や日本の大道芸を生で観た経験を持つ人は決して多くありません。今回の公演では、江戸時代に多くの庶民に親しまれていた「祭り」のなかでも、日本の伝統芸能の祭りに関わる日本舞踊、太神楽、和太鼓を紹介し、伝統ある祭りの楽しさを感じとれる内容で開催します。

1) 第 6 回自主公演公演開催概要

公演名：「第 1 回伝統芸能をつなぐ ～江戸の祭り～」(仮題)

開催日： 2022 年 10 月 16 日（日）午後 3：00 開演

場 所： 中央区立日本橋公会堂（東京都中央区日本橋蛸殻町 1-31-1）

集 客： 約 380 名 (予定)
出 演： 花柳輔太郎 他、鈴木恭介 他 若山社中、林英哲 他
演 目： 日本舞踊「三社祭」「お祭り」(花柳輔太郎)
太神楽「獅子舞」「二枚面」「大黒様」他 (鈴木恭介 若山社中)
和太鼓「未定」(林英哲 他)
鑑賞料： 5,000 円 (自由席) (予定)
協 賛： 数社を検討中

3. 育成事業 松尾塾伝統芸能の運営

「松尾塾伝統芸能」の稽古場運営と「子供が挑む伝統芸能」の公演開催を予定しています。

2) 稽古場運営・稽古の実施

在塾生： 12 名
日 程： 基本、毎週日曜日
時 間： 午前 10 時から午後 2 時 30 分 途中休憩あり
場 所： 松尾塾伝統芸能 東日本橋稽古場
回 数： 40 回 (予定)
内 容： 狂 言 小舞・謡・狂言
日本舞踊 女舞・男舞
長 唄 唄・三味線
お 囃 子 小鼓・大鼓・太鼓

3) 「子供が挑む伝統芸能」公演開催概要

公演名： 第六回松尾塾伝統芸能公演 子供が挑む伝統芸能
「狂言・小舞・謡」
開催日： 2022 年 7 月 3 日 (日) 午後 2 : 00 開演
場 所： セルリアンタワー能楽堂(東京都渋谷区桜丘町 26-1 セルリアンタワーB2)
監 修： 野村万作
指 導： 中村修一 内藤連
出 演： 松尾塾伝統芸能在塾生 12 名
演 目： 狂言「口真似」「長光」「文山賊」「仏師」
小舞・謡 「柳の下」「宇治の晒」

「歌舞伎舞踊・日本舞踊・邦楽演奏」

開催日： 2022 年 8 月 11 日 (木・祝) 午後 2 : 00 開演
場 所： 中央区立日本橋公会堂(東京都中央区日本橋蛸殻町 1-31-1)

監 修： <お 囃 子> 田中長十郎
指 導： <日本舞踊> 花柳輔太郎 花柳輔瑞佳 花柳美輝風
<長 唄> 東音塚原勝利 東音山内美穂 東音布施田千郁
<お 囃 子> 藤舎千穂 藤舎朱音 藤舎清穂
出 演： 松尾塾伝統芸能在塾生 12 名
演 目： <日本舞踊> 「釣女」「羽根の禿」「手習子 丁稚」
<長唄 お囃子> 「潮来」「竹生島」「小鍛治」「神田祭」

4. 助成事業の運営

日本伝統芸能の振興、継承を目指す個人、または団体が更なる発展を遂げ、基礎基盤を強化する為の活動に助成します。

1) 助成対象者の募集

公式サイトにて一般公募を行います。

2) 審議と内定

選考委員会にて、審議、検討のうえ選定し内定とします。評議員会および理事会の審議を経て助成対象者を正式決定します。

5. 国際交流について

2022 年度も引き続き、各国大使館等の外国機関からの情報収集、調査等を行い、次年度に具体的な事業を行いたいと考えます。

6. 本年度経費予算

本年度事業計画に要する経費の予算は次の通りです。

1) 事業費

「松尾芸能賞贈呈式の開催」「松尾塾伝統芸能の運営と公演の開催」「助成事業の助成金」 その他運営費

2) 事務費

諸連絡、打合せ、会議費用並びに各庶務、用度費用

3) 予備費